会議録

1　会議名
令和８年度第６回名立区地域協議会

2　議題（すべて公開）
（１）開会
（２）あいさつ
（３）議事
ア 報告事項：上越市地域にぎわい事業補助金の評価及び地域ビジョンの作成等について
イ 諮問事項：上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について
① ろばた館の休館日の変更について
－「ろばた館」使用料の見直し（案）について
② 円田荘の利用時間及び休館日の変更について
－「円田荘」使用料の見直し（案）について
③ 不動地域生涯学習センターの利用時間及び休館日の変更について
－「不動地域生涯学習センター」使用料の見直し（案）について
④ 上越市立名立地区公民館の利用時間及び休館日の変更について
－「上越市立名立地区公民館」使用料の見直し（案）について
⑤ 名立コミュニティプラザの利用時間及び休館日の変更について
⑥ 上越市立名立地区公民館上名立分館の利用時間の変更について
－「上越市立名立地区公民館上名立分館」使用料の見直し（案）について
－「学校開放体育施設」使用料の見直し（案）について
ウ 自主的な審議：名立の魅力発信と持続可能な集落・地区の促進について
エ その他事項：次回開催日について等
（４）閉会

3　日時
令和8年9月29日（火）午後6時30分から午後8時15分まで

4　場所
名立区総合事務所　第2会議室

5　傍聴人の数
1人

6　非公開の理由
なし

7　出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）
・委　員：石井委員、岡﨑委員、新田委員、二宮委員、畑委員、原田委員、細谷委員、矢沢委員、吉沢委員
・事務局：農政課　太田課長、滝澤係長、地域政策課　新保係長、名立区総合事務所　沢田所長、齊藤次長、武田グループ長、福田班長、齋藤班長、大島主任

8　発言内容

＜ア 報告事項：上越市地域にぎわい事業補助金の評価及び地域ビジョンの作成等について＞
■ 説明
・事務局から、資料No.1-1～1-4により説明。
■ 質疑応答

・質問／意見：地域ビジョンについては、正副会長と事務局でたたき台を作成し、地域協議会でブラッシュアップしていく方向でどうか。
→回答：問題ないが、NPOまちづくり未来ネット・名立では、すでに策定した「名立まちづくり計画」を更新する予定であり、その計画とのすり合わせが必要と考える。
・質問／意見：5つの評価基準に基づき評価を行うとある。地域活動支援事業では各区地域協議会で各々評価を作成したが、今回は市が作成した統一的な基準で評価するのか。
→回答：全市で統一的な基準をもって評価を行う。
・質問／意見：各区の上限額は、人口の均等割を加味しても人口数の割に配分額が高い区がある。現在の採択事業を考慮しての金額なのか。
→回答：予算総額1.8億円に対し、7割を均等割、3割を人口割として、各区の配分額を決定した。ただ、人口数は少ないが地域独自の予算事業の提案が多い区もある。そのような区については、事業の継続性を考慮し、令和9年度は例外的に予算総額を2,000万円追加した。令和10年度以降はそういった加配は実施しない。
・質問／意見：割り振られた予算額を超えた場合、どの事業を採択するかは各区で決めるのか、それとも市で決定するのか。
→回答：地域で必要な事業を選ぶという考えのもと、地域協議会で評価を行い、順位付けし、評価が低いものは採択しないことになると思う。ただその前に、事務局で各提案事業の精査を行ったうえで、地域協議会に提案する予定である。
・質問／意見：一事業の上限額はあるか。
→回答：ない。令和8年度の事業数は約190あり、多様な内容であるため、平均値を割り出すのは難しい。令和9年度に実施する中で課題があれば補助事業の見直しを行っていく。ただ、地域協議会で一事業あたりの上限額を設けるかどうかは妨げないので、具体的な評価基準などが出来上がってきたら検討いただきたい。

＜イ　諮問事項：上越市公共施設等総合管理計画に基づく取組案について＞

■ 説明
・事務局から、資料資料No.2-1～2-6により説明。

■ 質疑応答
・質問／意見：ろばた館と円田荘の休館日について、急な利用が発生した場合は総合事務所と相談したうえで利用可能であるという認識で良いか。
→回答：そのとおりである。
・質問／意見：円田荘の2階は耐震基準に適合していないため利用不可となっているが、申請用紙に使用場所として2階が掲載されている。
→回答：申請書については修正する。
・質問／意見：不動地域生涯学習センターは、地元で管理を請け負っているのか。また、年末年始も利用があるため、休館日や利用時間短縮は設けずに現状のままの運営でもよいと思う。
→回答：地元で管理している。
・質問／意見：上越市立名立地区公民館は、統計では金曜日の利用が一番少ない。なぜこの日を休館日としないのか。
→回答：土曜、日曜日のイベント時に付随して金曜日も利用することから、外した。
・質問／意見：月曜日も利用者は少ないが、高齢者向けのいきいきサロン活動で定期的に利用している。休館日は原則であるため、事前相談の上開けられるのであれば、休館日自体を設けなくてもよいのではないか。
・質問／意見：公民館は利用者が多い。いつでも利用できるということが大切である。地域にとって重要な施設であるので、休館日を設けない方向で動けないのか。

・質問／意見：休館日の決定はいつになるのか。
→回答：次の地域協議会で答申した後、12月議会にかけ、令和9年4月から運用開始予定である。
・質問／意見：例えば、休館日を設けない答申とした場合、継続審議もありうるのか。
→回答：答申前に、地域協議会でもう一度検討する機会が必要と思うので、どのように進めるか、この後話し合いたい。
・質問／意見：水曜日が祝日の場合はどうなるのか。
→回答：祝日であっても、休館日は水曜日のままである。

＜ウ　自主的な審議：名立の魅力発信と持続可能な集落・地区の促進について＞
■ 説明
・事務局から、資料資料No.3により説明。
■ 質疑応答
・質問／意見：魅力発信会議が立ち上がり、事業も形になってきた。地域協議会が関わる終期はどうするか、考えるべきではないか。
→回答：魅力発信会議発足後、1年は経過しないと事業の評価もできないため、1年は関わりを残したい。令和8年度いっぱいは残すべきと思う。また、今後、地域ビジョンの策定もあることから、魅力発信会議がどのように活動しているのか情報は継続的に得たい。
・質問／意見：今後、魅力発信に関する審議はサブ案件になっていくなかで、次の自主的審議案件はどうするか。定住や持続可能な地域づくりについて、一か所に集まるワークショップができればよいが、地域協議会ではなかなか時間が取れない。一方、NPO未来ネット・名立では「名立まちづくり計画」更新に向け、全地域住民に対しアンケートを実施している。アンケートは地域の意見を吸い上げたものとなるので、集計結果を参考に見せてもらったり、「名立まちづくり計画」の方向性も踏まえたりなど、地域ビジョン策定との調整を行う必要があるのではないか。
→回答：NPO未来ネット・名立と話し合いの段取りをつけたい。
・質問／意見：資料No.3のイメージ図では、例えばシーサイドパーク名立のローラースライダーは現在稼働していないがそのイラストがあるなど、現実と乖離しているのではないか。
→回答：妄想ワクワク会議で「こうなったらいい」、「こうしたら楽しい」という意見をどんどん出していった結果をイメージ図に落とし込んだため、現実との乖離があるものもある。会議の熱量が絵に落とし込まれたと見ていただければよい。

＜エ　その他事項＞
・報告：次回第7回は10月29日（木）、第8回は11月26日（木）、第9回は12月22日（火）とする。
・報告：答申（案）作成のため、本日の会議を踏まえて各自の意見を持ち寄り、地域協議会で検討する前に、一度集まって意見交換会を行う。その後答申を行うこととする。意見交換会の実施日は事務局で調整し、後日個別に連絡する。
・質問／意見：土砂崩れのあった不動地区の林道の現状はどうなっているか。
→回答：9月末に土砂を取り除き、現在は開通している。他に抜けている部分もないことを目視で確認済み。ゲートがあり事前の通行許可が必要なことは変わらない。また、みずの森フェスティバルは10月24日に実施予定。今年は林道が不通であったため、整備ができておらず、登山道は開放しない。その代わり、豊作であったブナの実を活用した催しを行う予定である。